



## 人権週間で考えたいこと

学校長 久城 博之

早いもので今年もあとひと月、師走（しわす）に入りました。校庭の木々もすっかり色づき、すでに落葉が始まっています。朝夕もめっきり冷え込むようになってきました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年でしたが、感染状況が少しずつ落ち着いてきたのを確認して、学校行事をできる範囲となりましたが実施することができました。10月には運動会、11月には、日帰りでしたが6年生は箱根への修学旅行、5年生は三浦へ体験学習へと行くことができました。また、延期になっていた「授業参観・引き渡し訓練」も行うことができました。この後、各学年や個別支援学級の遠足も予定しています。

また、マーチングバンドは、さいたまスーパーアリーナにて行われた関東大会では金賞を受賞するとともに「市教育長賞」もいただくことができ、全国大会へ出場できることとなりました。これからさらに昨年度に続いて「ジャパンカップ2021」「スーパーマーチング」と年内に出番が多くなりますが、子どもたちはどの大会も「平安らしいショーを作り上げて多くの方々に観てほしい。」との思いをもって練習に励んでいます。引き続き応援の程、よろしく願いいたします。

さて、4日から人権週間が始まります。これは、国際連合で1948年に世界人権宣言が採択されたことに由来します。世界人権宣言は、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国が達成すべき共通の基準として採択されました。1950年12月の総会では、世界人権宣言が採択された日である12月10日が「人権デー」と定められました。

日本では、1949年に毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日～10日まで）を「人権週間」と決めました。そして、今年の「第73回人権週間」では、啓発活動重点目標を「『誰か』のことじゃない。」として、啓発活動を展開することとなっています。

平安小学校でも11月29日から12月3日までを人権週間と位置づけ、子どもたちの人権に対する考え方を養っていきます。私たち職員も人権研修を行って人権感覚を磨いていきます。

現在の社会では、いまだに残念ながら、いじめや暴力など人権を侵害するような事件やできごとがニュースとなって目や耳に入ってきます。昨年度のいじめ認知件数は前年度よりも減っているのですが、内訳を見るとパソコンやスマホを通じた誹謗中傷といった「ネットいじめ」は過去最高だったそうです。いじめが見えにくくなっている状況の中、いかに早期に見つけて対応するかが大きな課題となります。人はだれでも「わがままで自己中心的な心」をもっています。しかし、家庭や地域、学校での教育によって我慢しなくてはならないこと、自分を抑えなくてはならないことなどを学んで成長していかなくてはなりません。学校は、その基礎的な集団社会の規範を学ぶ場所です。この「人権週間」だけではなく、子どもたちが日々、自己肯定感や思いやりの心、お互いの立場の違いを認め合うことの大切さを学び、「豊かな心」が育つよう、支援していきます。

ぜひ、ご家庭でも、この機会に、人権について話題にしていきたいと思います。

本年も保護者、地域の皆様には多くのお力添えをいただきましてありがとうございました。2022年も引き続き、ご理解ご支援をお願いするとともに、皆様方にとりまして健康でよい年となりますようお祈り申し上げます。